


資料6 : 都道府県の立場から(大坪参考人提出資料)

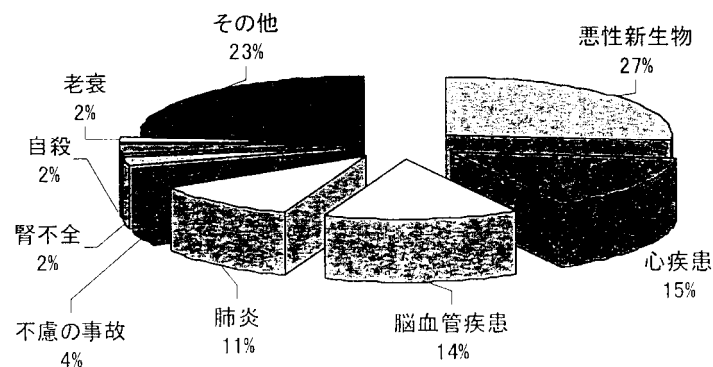
鹿児島県のがん検診の現状と課題

 鹿児島県保健福祉部

●悪性新生物による死亡(H17年)

5,048人(総死亡の27%)

[総死亡に占める割合]

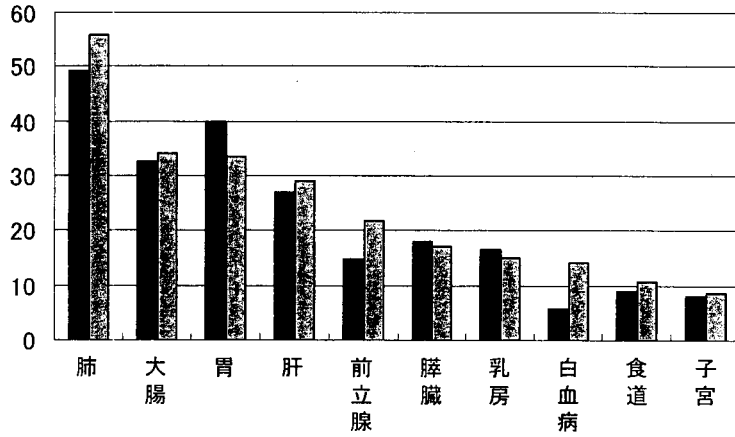


● 部位別がん死亡率(H17年)



(人口10万対)

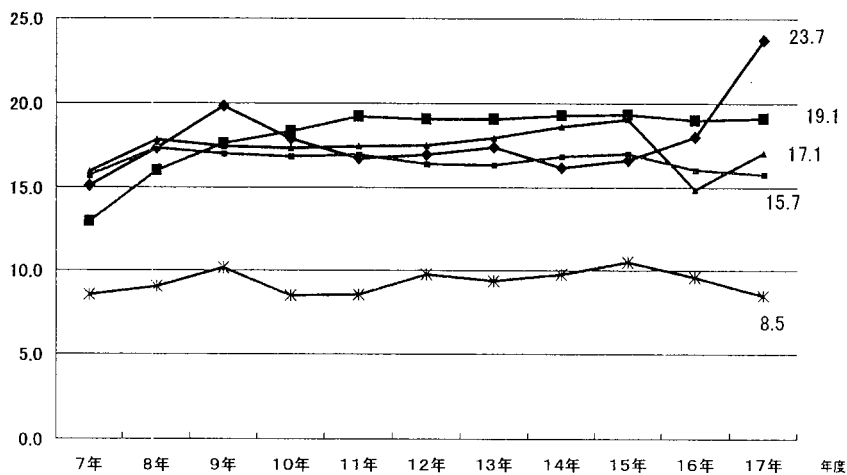
■ 全国 □ 本県



● 市町村がん検診受診率の推移



◆ 肺がん(胸部X線) ■ 大腸がん ▲ 子宮がん(頸部) ● 胃がん * 乳がん



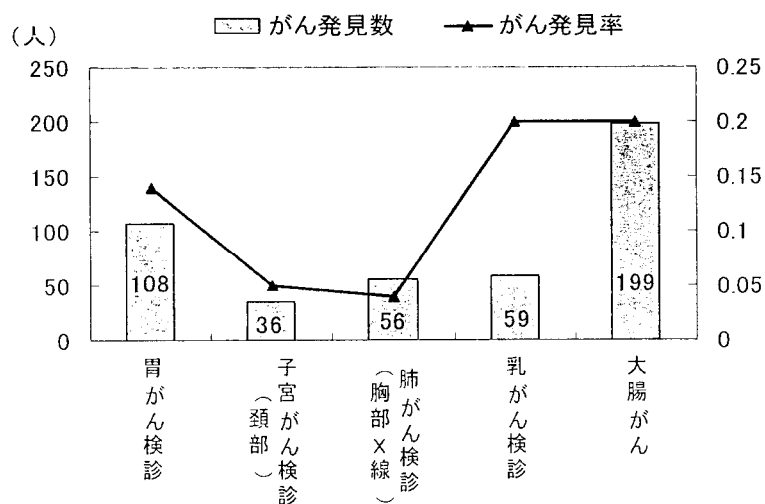
●本県全体のがん検診推計受診率(H17年度)



	市町村がん 検診受診者	人間ドック・事 業所検診受診 者等	計	推計受診 率
胃がん	78,115 人	105,806 人	183,921 人	18.0%
子宮がん	71,536	15,782	87,318	11.5
肺がん	131,375	138,966	270,341	26.5
大腸がん	101,323	101,211	202,534	19.9
乳がん	29,211	27,680	56,891	10.2

推計受診率に用いた人口は、胃・肺・大腸は40歳以上人口、乳は40歳以上女性人口、子宮は20歳以上女性人口

●がん発見数・発見率(H17年度市町村がん検診)



●市町村がん検診の精度管理の状況



○がん検診のための点検表

(H18年度調査)

	子宮がん 検診	乳がん 検診	大腸がん 検診
受診者に占める前回未受診者の割合を集計しているか Yes	24.5%	30.6%	24.5%
がん発見率を受診歴別に集計しているか Yes	26.6%	28.6%	26.6%
上皮内がん・早期がん割合を受診歴別に集計しているか Yes	24.5%	26.5%	22.4%
陽性反応的中度を受診歴別に検討しているか Yes	16.3%	22.4%	16.3%

●要精密者のフォロー



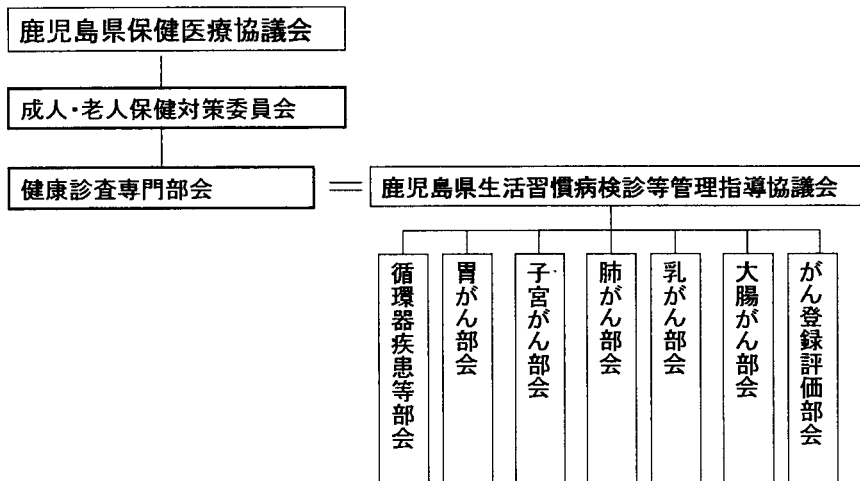
市町村がん検診精密検診受診率 (H17年度)

- ・ 胃がん検診 86%
- ・ 肺がん検診 88%
- ・ 子宮がん検診 81%
- ・ 乳がん検診 92%
- ・ 大腸がん検診 76%

市町村保健師等が、要精検者については、訪問または電話で受診勧奨。

また、検診委託機関からの要精密者者追跡結果に基づき、3ヵ月後、6ヵ月後に未受診者・受診不明確者について、訪問または電話にてフォロー。

●精度管理の充実(1) 精度管理協議会体系図



●精度管理の充実(2)



〔協議会及び部会での協議内容(H18年度)〕

- ・ 各がん検診の実施状況
- ・ がん発見率の向上について
- ・ 精密結果の判定区分について
- ・ 精度評価について
- ・ 精密検査実施協力医療機関の登録について
- ・ 県の検診実施方針について 等

課 題

- 1 伸びないがん検診受診率
 - ・市町村がん検診の予算確保困難
 - ・受診率の市町村間格差
 - ・対象者把握(母数が確定しない)
 - ・検診日程について検診機関との調整が困難
- 2 100%に届かない精検受診率
- 3 精度管理の充実
- 4 地域がん登録の充実

改善策～受診率の向上

- ① 県民への啓発
 - ・啓発ポスター・チラシ・ホームページ
 - ・マスメディアの活用
- ② 市町村への啓発
 - ・担当課長・担当者会議
 - ・首長や議長への受診率向上の説明会
- ③ 関係機関との連携による啓発
 - ・対がん協会、県民総合保健センター、NPO(ピンクリボン運動)等
 - ・結核・成人病予防婦人会による受診勧奨活動

改善策～精度管理

- ① 生活習慣病検診等管理指導協議会
 - ア 各がん部会 年1回開催
 - ・子宮がん検診の毎年実施
 - ・H12年度からのマンモグラフィ検診の取り入れ
 - イ 精密検診実施協力医療機関の指定
 - 各がん部会で条件を満たした機関を指定
 - ・平成19年6月現在 780医療機関
 - ・検診従事者研修会等への参加の義務付け

② 検診従事者のスキルアップによる精度の向上



ア 検診従事者講習会・検診均てん化研修会

- ・H18年度 胃・乳がん検診研修会 各2回
- 大腸・子宮・肺がん研修会 各1回

イ マンモグラフィ読影医師・撮影技師養成研修

- 会 ・H18年度 医師49名受講 撮影技師50名受講

③ 事業評価のための点検表(都道府県用)の活用

④ 市町村による精度管理

ア がん検診点検表の活用(乳房・子宮・大腸がん)

イ 精密検査実施協力医療機関の活用

要精検者に対する精密検査協力医療機関への受診勧奨

地域がん登録の充実

(1) 登録状況

①H18年度登録数

医療機関からの届出による登録	1,602件
死亡小票による登録	5,067件
計	6,669件

②H18年医療機関からの届出

届出医療機関数	29機関
届出件数	2,466件

(2) 改善策

■新規協力医療機関の掘り起こし

訪問や文書による協力依頼

→新たに99医療機関が承諾

H19年度は、15,000件の届出見込み

■出張採録による登録

■医療機関への情報還元によるがん登録への理解を図る

■精密検査実施協力医療機関の遵守事項の徹底(地域がん登録への協力)



がん対策推進計画の策定



国の「がん対策推進基本計画」を基本として、県におけるがん患者に対するがん医療の提供の状況等を踏まえた「鹿児島県がん対策推進計画」を策定する。

策定にあたっては、医療計画、健康増進計画等の計画との整合性に留意。

<スケジュール(H19年度)>

4～5月	・基礎資料調査	12月	・関係団体への計画素案説明、パブリックコメント開始
6月	・国計画内容の分析		
7月	・計画骨子素案作成	1月	・県がん対策推進協議会での計画案検討
9月	・県がん対策推進協議会での計画骨子素案検討		
10～11月	・計画素案作成	3月	・計画策定、公表